

第1回 逗子海水浴場の運営に関する検討会 概要

日時：平成27年3月19日（木）

14時00分～16時00分

場所：逗子市役所5階 第6会議室

1 開会

事務局より、検討会は傍聴できることと、マスコミの頭撮りについて説明

2 市長あいさつ（市長発言要旨）

今年の逗子海岸海水浴場の運営については、安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例（以下「条例」という。）に規定された、砂浜での飲酒・バーベキュー・拡声器を使った音を出すことの禁止、他に畏怖を与える入れ墨の露出禁止といった事項は昨年同様とする。

規則で定めている海の家営業時間、音楽の扱いについては、当初、3月中の方針を決定すると申し上げていたが、その決定を1ヵ月延期し、その間に、まちづくりトーク、また、逗子海岸営業協同組合（以下「海岸組合」という。）と近隣住民との意見交換会などを行った上で、4月下旬の第2回検討会の議論を踏まえて方針を決定することとする。

現時点における市の考えとしては、今年の海の家運営ルールは、昨年の方針を基準としつつ、弾力的な運用を試験的に実施することとし、まず、海開きから7月末までの約1ヵ月間、試行として、音楽については海岸組合が提案している出力が小さいスピーカーを使用することで近隣に迷惑のかからない形であれば、BGMのみを認めることとしたい。

また、営業時間については、7月末までの間は、18時30分終了を原則としつつ、ファミリービーチとしての活性化のためにふさわしいイベントなどを観光協会・海岸組合等が実施する場合は、土日を中心に市長が必要と認めた日について、20時までの営業を許可することとしたい。

次に8月については、7月下旬に検討会を開いて、7月の状況を各メンバーの皆さんに評価していただき、海岸組合がルールを遵守し、安全で快適な海水浴場として適正に運営されているかどうかを見極めた上で、営業時間について20時を限度として、平日・週末及びお盆休み期間にどの程度の弾力的運用が適正かをご議論いただき、市として決定することとする。もし、海岸組合のルール遵守が徹底されない、あるいは治安が悪化した場合は、昨年同様の措置を含め、改めて検討することとする。

3 議題

(1) 逗子海水浴場の運営に関する検討会（以下「検討会」という。）について

- ◆ 検討会は、条例第3条第2項の協議の場合及び、まだ（案）の段階だが神奈川県が策定するガイドライン（以下「県ガイドライン」という。）を踏まえた協議の場合。
- ◆ 所掌事項は、条例に規定するルールに関すること、ファミリービーチとしての振興に関すること、条例及び条例施行規則に関すること、その他市長が必要であると認めたこと、について協議・検討して市長に報告すること。
- ◆ メンバー自己紹介とオブザーバー紹介。
- ◆ 座長については、三宅氏と和田氏が推薦され、三宅氏と決定した。
- ◆ 副座長については、和田氏と深澤氏が推薦され、深澤氏と決定した。

(2) 2015年度の逗子海水浴場ルールについて

- ◆ 現時点でのルール（案）やルール遵守の仕組み（案）について、事務局より説明。
- ◆ メンバーからの要望を受け、海岸組合が海の家出店受付時に使用する誓約書を配付。
- 海の家出店証は、店内ではなく店外から目立つ場所に掲示して欲しい。
⇒事務局に組合員の顔写真一覧の掲示もする。掲示場所は重要なので、検討課題として持ち帰る。【海岸組合】
- 水上バイクの営業をする海の家は出店するのか。渚橋の方にいる一部の無法者の営業は認めないで欲しい。
⇒水上バイクの営業は行わないつもりだが、仮に出店申込してきても、部会として責任者を立て、海岸組合主導とする。近隣住民の方、マリン連盟、ライフセーバー等の意見を踏まえたうえで、が大前提。【海岸組合】
- 海岸組合には、ルールを周知徹底していただき、建築・解体期間等も含めてルール全体を遵守していただきたい。【座長】
- ルールの名称を、海の家事業者と利用者の双方に関係するものだとわかるように変更することを提案する。（例：2015年度逗子海水浴場業者ルール及び海岸利用者ルール）
- 県ガイドラインに事業者・市民向けルールの模範例があるので、県全体の流れに沿ってルールを作成するのが基本原則。運営検討会において一番嫌なのは、海岸組合と市民の対立構造になること。冒頭の市長の発言のとおり、住環境を一番大事にしつつ賑わいも維持するのが重要だが、現状のルールの形式では対応できないため、県ガイドラインに沿うべきで、これを元に議論すべき。
- 2点ほど。誓約書は、市と海岸組合が協議しながら作成してきたなかで、3番の文言で条例・規則・ルールの担保をすることを考えている。ルールは、現段階では昨年にもとづき作成しているが、県ガイドラインが正式に策定された際には、それに合わせて書き方を変えていく。また、名称についても先程のご提案のとおりなるよう検討する。【事務局】

- 海の家出店者は、誓約書を読み込んで理解し、出店の際のリスクを把握したうえで誓約書にサインをするようにすることが重要。海岸組合は、市民にもルールがあり、共栄共存のためにルールがあることを説明する義務があり、役員は全組合員にルールが周知徹底される方法をとる必要がある。そうでなければ、毎年同じことの繰り返しとなる。
- ルールの詳細に関しては、次回以降の話となるだろう。明日、出店受付なので後は海岸組合に任せるしかないが、条例・規則・ルールの周知徹底、遵守に関してはお願いしたい。【座長】
- ルール等を遵守するとして誓約書にサインするのに、規則は別にしてもルールが定まっていないのは良いのだろうか。例えば、除名処分にする回数等が未定であるが。
⇒組合員のためを思ってくださいとのことと思うが、厳しくやる。ルールを守らない海の家は要らない。それが、将来の逗子のため、我々の目指す海岸のためになると考えている。例えばルールが変わったとしても、誓約書にサインをした以上は、遵守させる。【海岸組合】
- どの程度違反をしたら除名にすると考えているか教えてほしい。
⇒どの様な種類の違反でも、一回で除名とするのはさすがに常識から外れてしまうが、常識的な範囲内であれば。【海岸組合】
- 回数を決める必要はない。悪質だと判断したら、誓約書を元に回数に関係なく除名とする権利を持った方が良い。
- 海岸組合には、今までの意見のような様々なこと精査したうえでの、除名等の基準について示していただきたい。細かい記載がないと恣意的な運用の可能性も残ってしまう。検討会としては意見を言わせてもらうが、海岸組合が強い意思を持って主体的に決めないと仕方がない。次回、検討会で示し、説明して欲しい。【座長】
- 誓約書に、区画番号と海の家の名前を記載できるようにして欲しい。また、誓約書は我々も閲覧でき、どの海の家が誓約書に同意したかという情報を検討会は貰えるのか。
⇒出店書兼誓約書なので、これを書かなければ出店できない。また、これとは別に出店者名簿を作成する。【海岸組合】
- 回数は決めない方が良い。仮に3回だとしたら、2回までは悪質な違反をしても除名ができなくなる。全店舗が2回ずつ違反をすることだってあり得る。
- 安全・安心を阻害する悪質な違反に関しては1回で除名、というように全ての違反に同じ対応とせず、程度により対応を変えた方が、効果があると思う。
- 誓約書に、組合の定款にもとづき除名処分を行うと記載されているので、海岸組合自身で規律を維持できるのならば、検討会メンバーが各海の家の様子を持ち寄り、その情報を元に海岸組合が対応できると思う。海岸組合主体でルールをしっかりと決めれば解決できると思う。

- 営業停止、除名というのは出店者にとっては生命線となる。今まで、過去の経緯から、海岸組合への不信が基本としてあり、信用の担保としてルールを決めて欲しいということであった。今回の場合、回数がルールに非常に近い物となる。今後、海岸組合の体制が変わっても維持できるものでなければ、皆さん安心できないのでは。1回で除名にできる権利も持ったうえで最低でも何回違反したら除名、のようなセーフティネットを作らない限り、今までと変わらない可能性もある。
- 最終的には、ルール（案）に記載されている、処分を受けた海の家が規定数に達した場合には規則を変更するという事しかないだろう。
- 良い意味で緊張感をもってお互いに運営するという事であり、海岸組合が変わろうとしているので、変わるという事実を注視しながら応援するのが一番良いだろう。
- 交通ルールを参考にして点数制にしてみるのも良いのでは、と思った。様々なものを踏まえて検討する。【海岸組合】
- 事務局に。ルールの名称を変更するのは問題ないか。【座長】
⇒問題ない。【事務局】
- 3月末に県ガイドラインが正式に策定されたら、それを逗子の状況に適したかたちで反映するか等を、事務局から検討会に提案を受け、今後検討・議論を進めて行きたいと思う。【座長】
- 海の家事業者向けに開催される5月の説明会で、その場が市の指導であると再確認させたうえでルールを示せば効果があると思う。
⇒昨年もゴールデンウィーク明けくらいに、市や県等の関係機関から海の家事業者向けの説明会を開催した。ご提案のとおり、事業者説明会までにルールを固め、提示したいと考える。【事務局】
- その際には、改正される部分等の重要な場所に絞った説明をし、読み合わせをすれば、より一層効果的だと思う。
- 「ルール等の周知徹底について」というのは海岸組合から出てきているものでよいか。【座長】
⇒市と海岸組合で事務的な協議を重ねたなかで、できたものである。【事務局】
- 「ルール等の周知徹底について」は、海の家出店受付の際に配布・説明されるのか。【座長】
⇒明日もそうだが、5月の説明会でも説明等行っていく。【海岸組合】
- 今までの経緯から、海岸組合に不信がある。それは代表理事に対してではなく、いかに末端までルールが伝わっているか、ということだ。ルールに対して、全員が賛成ということはないと思うので、反対意見等が出ていれば差し支えない程度にそれを教えて欲しい。ルールを作ったところで、出店者が逗子の海を良くする気持ちがないと実効性はない。7月にはそれまでの状況をみて8月の動向を決める機会があるので、そこでチェックもできるが。

⇒7月までの状況で8月の動向を決めるということは、今までの体制で信任がないことの表れであり仕方がないと思うが、できれば、広告や利用者のこと、及び組合員への説明のことを考えると、組合員を説得できるルールと分かり易い時間というのは必要だと考えている。

今は地域住民の方からの信頼がないが、今後我々の熱意等がわかっていただければ、何とかなるのではと思っている。【海岸組合】

(3) その他

- 市はマナーアップ警備員の予算をとっているが、それはもったいないと思う。他自治体ではライフセーバーが、海側だけでなく陸側も監視できる装備で活動しているので、逗子もそのような設備投資をした方が良い。

- 5月の事業者説明会までに名称含めルールを完成させないと話にならない。今後のスケジュールについて、事務局から説明を。

⇒4月下旬に第2回の検討会を開催するので、日程が決まり次第ご連絡する。第2回検討会では、最初に冒頭市長が提示した方針（案）について議論し検討会としての意見をまとめていただき、残りの時間でルールについて議論していただきたい。

5月下旬には海の家事業者向け説明会があるので、できればゴールデンウィーク明けに第3回の検討会を開催し、ルールを大体決めたい。また、4月4日（土）にはまちづくりトークが開催される。【事務局】

- ◆ 県ガイドラインを溶け込ませ、名称等について調整したルール（案）を、事務局より再度提示することとなった。
- ◆ 冒頭の市長発言の概要を、メンバーに送付することとなった。
- 3月14日（土）に海水浴場近隣住民と市長の意見交換会を行い、約50名が参加した。その冒頭で、事前情報なしで突然に、市長が営業時間の延長を考えていることを発表したため、新宿は現段階では説明不足によるとして絶対反対となった。

ほとんどの市民は、営業時間を延長するとは思っていないので、今後のまちづくりトーク等では、表題にそのようなことがわかるように記載することを要望した。

また、4月19日（日）に市のコーディネートのもと、近隣住民と海岸組合の意見交換会の開催をお願いしている。そこで、住民に周知がされれば地域住民としては、営業時間等について回答できるのではと思っている。現段階では皆が知らなさ過ぎるため、反対としか言えないことをご理解いただきたい。

- ◆ メンバーより運営検討会の開始時刻を14時30分として欲しいとの要望があり、メンバーにアンケートを実施して、次回以降の開始時刻を決定することとなった。

- 今後、県のあり方検討会のような組織が視察に来る場合には、運営検討会との交流を図り、逗子と県でリンクできるようにして欲しい。

⇒県のあり方検討会は終了したので、今後そのような機会があれば検討していきたい。

【事務局】

- ◆ 事務局より、ルール of 形式について、県ガイドラインに例示されている条文形式と、従来のものに県ガイドラインを溶け込ませた形式とで、どちらがよいかを投げかけた。
- ⇒ 当然、内容は逗子の条例・規則等を入れるが、体裁は県ガイドラインのものをベースにした方が、県も周知徹底に努力するだろうから、周知徹底しやすいと考える。
- ⇒ 十何年間かけて作り上げてきたものであり、県が後追いで作ったことは明らかなので、従来どおりのものに溶け込ませた形式でよい。
- ⇒ 残り時間が少ないため、決を取ることであり、従来までのものに県ガイドラインを溶け込ませた形式となった。

出席者一覧

所属		職名	氏名	備考
公募の市民	市民メンバー		相澤 京子	
			深澤 忠房	
			熊岡 寛展	
			菊井 健一	
観光・商工団体	逗子市観光協会	事務局長	田代 朋子	
	逗子市商工会	副会長	三宅 譲	
	逗子市中央商店街連合会	会長	桐ヶ谷 寛	
逗子海岸近隣 町内会・自治会	逗子市新宿町内会	暫定再生委員会 委員長	石井 康生	
	下桜山交友会	環境担当部長	菊池 伸介	
	逗子6丁目の会	会長	徳本 恒徳	欠席
	逗子7丁目東自治会	顧問	菊池 俊一	
	逗子ニューライフ管理組合	メンバー未推薦		
児童・青少年 関連団体	新宿地区青少年育成推進の会	会長	安重 宣子	
	逗子市民生委員児童委員協議会	主任児童委員	飯野 幸	
防犯団体	逗子市防犯協会	会長	和田 修芳	
海岸にて活動する 事業者	逗子海岸営業協同組合	代表理事	菊池 千春	
	逗子マリン連盟	代表	小林 伸之	
市職員	市民協働部	部長	福井 昌雄	
その他市長が必要 があると認めた者	逗子サーフライセービングクラブ	顧問	歌代 光雄	
	逗子30'sプロジェクト		田中 美乃里	

オブザーバー	神奈川県逗子警察署	地域課長	高松 良二	
	神奈川県横須賀三浦地域 県政総合センター	企画調整課長兼 商工観光課長	中羽 加代子	(代理) 副主幹：長谷川英樹
	神奈川県鎌倉保健福祉事務所	生活衛生部長兼 環境衛生課長	奥津 幸夫	
	神奈川県横須賀土木事務所	許認可指導課長	徳永 義宏	
	公益財団法人 かながわ海岸美化財団	主任主事	高辻 宏行	

事務局

所 属	職 名	氏 名
市民協働部	次長 生活安全課長事務取扱	高橋 佳代
経済観光課	課長	岩佐 正朗
経済観光課	経済観光係長	鈴木 仁
経済観光課	主事	池田 祐一